

独創的メカづくりが将来の日本を築く



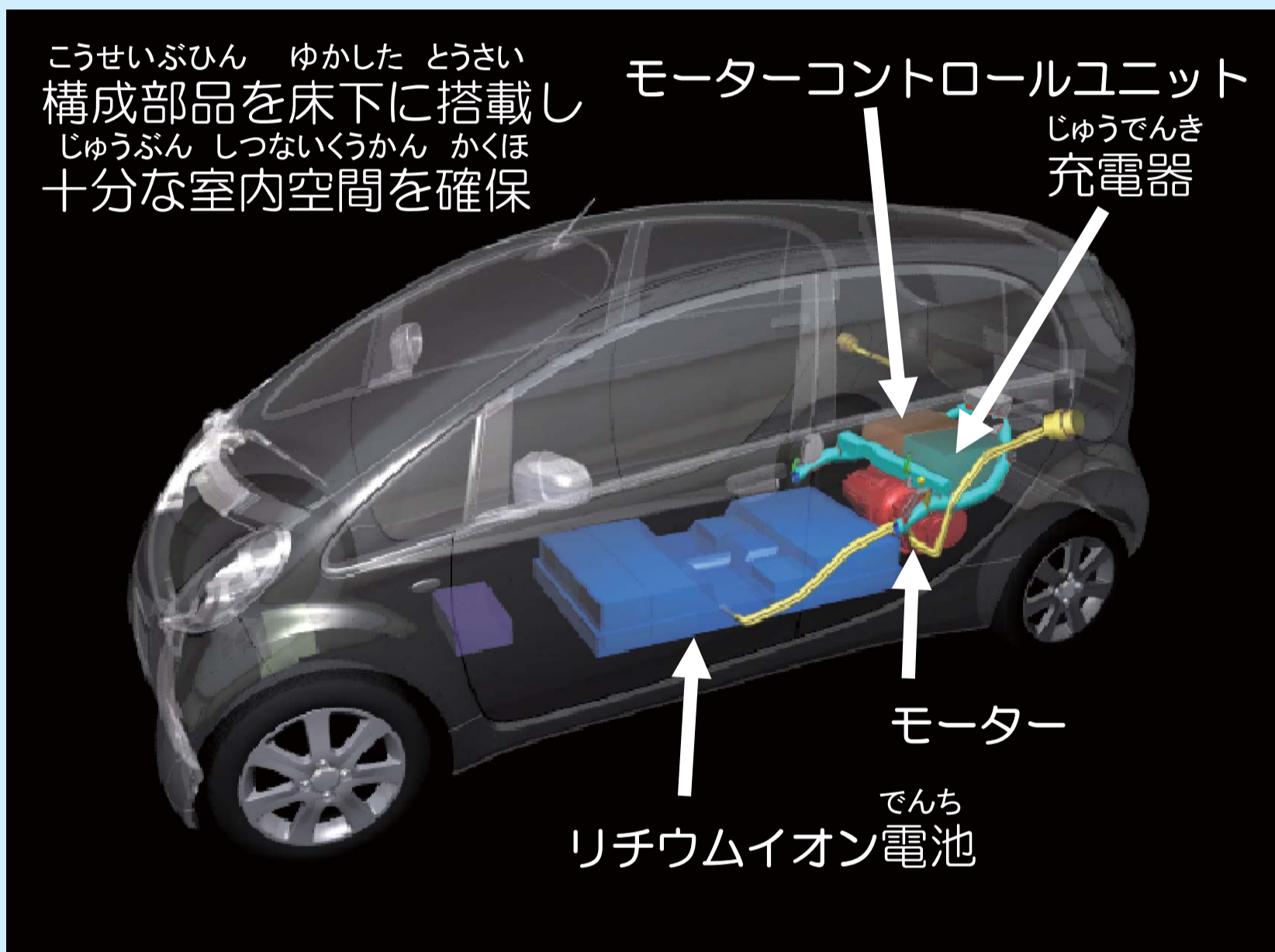
2011年度 日本機械学会賞(技術)受賞 (日本の先端科学技術の紹介)

8月7日は「機械の日」
8月1日～7日は「機械週間」

『高性能リチウムイオン電池を搭載した新世代電気自動車の開発と普及促進』

Drive @ earth ～地球にやさしく走る電気自動車の開発～

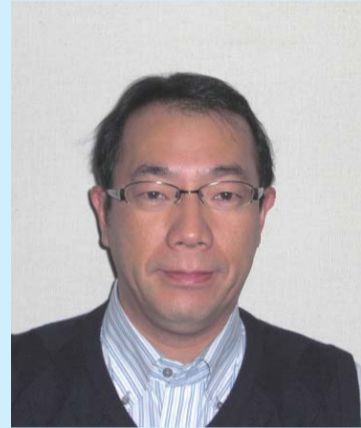
三菱自動車工業株式会社



よしだ ひろあき
吉田 裕明



わだ けんいちろう
和田 憲一郎



とづか ゆうじ
戸塚 裕治



きし まこと
貴志 誠

電気自動車
あいみーぶ
i-MiEVです。



『どうしてこの技術が必要なの？』

これまでの電気自動車は、電池やモーターの課題 - ①重くてかさばる電池とモーター ②短い走行距離 ③長い充電時間 - があり、実用化できませんでした。しかし高性能リチウムイオン電池などの開発により課題を解決し、2009年7月、世界初の量産電気自動車を発売できました。

『この技術は何に役立つの？』

1. 地球温暖化の防止：電気を使い高い効率で走るため、CO₂がガソリン車に比べて約1/2*
2. 大気汚染の防止：排出ガスを出さないため、空気が汚れない * 原発稼働なしの場合
3. 維持費の低減：電気代がガソリン代に比べて約1/3
4. 100V電源を供給：停電時にも電子レンジなどを使用可能 (オプションの電源装置を使用)

『この技術のここに注目！ここがすごい！』

ガソリン車は20世紀の当初に量産化され、豊富な石油資源の恩恵を受けて100年の歴史を築きました。今21世紀に入り、石油を燃やしCO₂が増加することによる地球温暖化、また石油資源そのものの供給不足が問題になっています。電気で走る電気自動車は21世紀に対応した車です。